

2019 年度 先進情報処理メカトロニクスクラスタ M2 中間発表会

目的

研究の進捗状況や修了までの研究計画を他の教員に聞いてもらう機会を設けることにより、修士修了にふさわしい内容であるかどうかを早めに判定してもらい、内容的に不備があればアドバイスをもらう。したがって、本年度に修了見込みの院生は、必ず発表するのが原則である。発表および質疑応答の内容が十分でない場合は再発表を指示する。発表の評点は、システム工学講究の成績に反映する。

発表時間

- プレゼン 10 分＋質疑応答 10 分＝合計 20 分（＋交代 1 分）
- 第 1 鈴：8 分，第 2 鈴：10 分，第 3 鈴：20 分

発表資料（PPT）

- 研究の位置づけ（関連先行研究と比較し、研究の新規性や有用性を述べる）、研究の目的（何を明らかにしようとするのか）、研究内容（これまでに何を行ったか）、今後の研究計画（修士修了時までの達成目標）を必ず盛り込むこと。
- 発表時間を十分活用すること（時間超過や、極端に短すぎてもいけない）。
- 論理の飛躍や、目的と結論の間に齟齬がないか十分に吟味すること。

配布資料

- 発表者が事前に教員に配布する。最初の講演の開始時刻までに配布を終えること。
- 原則として A4 判，片面あたり発表スライド 6～8 枚程度を白黒で印刷する。両面印刷推奨。文字が小さくならないよう、用紙の空間を有効利用して印刷すること。（PPT 印刷時に、「配布資料」で印刷するのではなく、「スライド」のまま、プロパティをクリックし「N アップ」のところで、「8 アップ」を選択して印刷するとよい）
- 資料は、教員数＋ α 用意する。

発表

- 最初の発表の 5 分前までに会場に集合し、最後の発表まで聞くこと。
- 開始前の休憩時間に PC を接続し、PPT の表示テストを事前に行うこと。
- 研究室で同じ PC を使うなど、発表者の交代が短く済むように工夫すること。

教員コメントへの対応

- (1) 質問やコメントに対する回答書を作成（期限：2 週間）
- (2) 学生よりクラスタ教員に回答書をメールで送付

宛先：gcl-aim-staff@sys.wakayama-u.ac.jp

件名：先進情報メカトロニクスクラスタ中間発表回答書（氏名）

- (3) 主査、副査を中心に、回答の妥当性を判断。不十分の場合は再提出

※ 発表および質疑応答の内容が十分でない場合は再発表を指示する。